



小学生・中学生の皆さんへ

2021年[令和3年]

5.27

No.140



発行：荒川区
発行部数：23,000部
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>



あらかわ区報

ARAKAWA KUHO JUNIOR

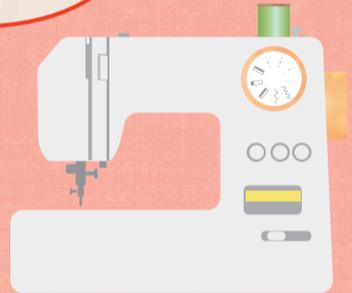
ジュニア

にっぽり
日暮里の
新スポット



布や糸など、手芸のための材料を揃えたお店が軒を連ねる日暮里繊維街。そんな日暮里繊維街をもっと楽しんでもらうために生まれたのが、日暮里地域活性化施設「ふらっとにっぽり」です。今回は諏訪台中学校3年生のジュニア記者たちと一緒に、「ふらっとにっぽり」を紹介します。

baby lock studio



ふらっとにっぽりに

ふらっと

新型コロナウイルス感染症予防のため、取材時は全員がマスクを着用していますが、撮影のためにマスクを外している場合があります。



問い合わせ ふらっとにっぽり ☎(3801)7301

次は7月に発行する予定です

ふらっとにっぽりは

手芸や洋裁、ファッション全般が好きな人は注目の施設だよ!



「ふらっとにっぽり」という愛称は、ジュニア記者が通う諏訪台中学校の生徒のみんなが選びました。館内には来館者が休憩できるスペースやミシンのレンタル、また、起業をバックアップしてくれる創業支援施設などがあります。1階から5階まで、さっそく探検してみましょう!



佐藤早生くん

1F 休憩するならここだね!

ふらっとにっぽりに入ると、まずは「おもてなしスペース」がお出迎え。繊維街を訪れた皆さんが買い物の途中でひと休みできる場所です。1階と2階をつなぐ「大階段」は大迫力。分からないことは「総合案内(コンシェルジュ)」へ聞きに行きましょう。



吹き抜けの大階段は、こ〜んなに開放的
イベントに合わせた展示なども楽しめます



おもてなしスペース



総合案内(コンシェルジュ)

施設案内のほか、海外からのお客様を含む観光案内を行います

日暮区民事務所は1階にあります

日暮区民事務所には建物の横にある入り口から入ることができます



清水結和さん

1F

3F

3F イベント開催もできちゃうね!

3階にある「多目的スペース」は、A・B・Cの3つの部屋に分かれています。部屋を分けている間仕切りの壁は可動式になっていて壁をレールに沿って動かすと、A~Cの3つの部屋が1つの大ホールに変身! 広〜い!



多目的スペース

▲多目的スペースは会議や研修会など、用途に合わせて利用できます



ホワイト

▲多目的スペース利用者のための待合スペースを活用し、無料のコワーキングスペース「ツムギバ」を週に3回運営しています

5F

創業支援施設「イデタチ東京」に

お邪魔しました! 問合せ ☎(3802)4807

“創業支援”とは起業したい人をサポートすることです。「イデタチ東京」では、ファッション関連の会社を起業した人が拠点にする個室オフィス(4室)やシェアオフィス(1室5席)の貸し出し、専門家による企業経営のアドバイスなどを行っています。世界へ羽ばたくクリエイターが荒川から生まれてほしいですね。



▲経営者が集まるロビーでは仕事に関する情報交換も行われています

5F

ベビーロック スタジオ baby lock studio

カードケースを作ったよ!

問合せ ☎(6806)8711



まずは革に印刷するデザインを選びます



選んだデザインをパソコンに取り込みます



カードケースのデザインの紙にイニシャルを入れます。文字の種類も選べます



印刷スタート!



印刷に使うUVプリンターに素材の革をセット!

インキの上から紫外線(UV)を照射してインキを固めます

完成

10分ほどで印刷完了! 組み立ててカードケースが完成しました



取材を終えて

佐藤くん
ふらっとにっぽりは、日暮里で仕事を始めたい人たちの支えとなる場所だと思います。

清水さん
baby lock studioは、趣味など多方面で利用したくなる場所でした。

2F

ベビーロック スタジオ baby lock studio

創作スペース

▶ baby lock studioの創作スペースでは、ワークショップなどを開催。ロックミシンの使い方を学ぶことができます



モノづくりがもっと楽しくなりそう!

UVプリンターを使った印刷、おもしろかったです!



ロックミシンの世界的なブランド・ベビーロックが運営する「baby lock studio」では、プロ仕様の特種なマシンや最新のプリント機器をレンタルできます。今回、ジュニア記者たちは革を使ったオリジナルカードケース作りに挑戦します。

ここに注目!



▲矢絣模様のタイル



建物の外観は「反物」が、外壁の色は染色される前の布本来の色を表す「生成色」が、床のタイルは、着物にも用いられる「矢絣模様」がそれぞれモチーフになっています。どれも繊維街だからこの色やデザインを取り入れています。



ゆい
しっかり者。
頼りない兄のフォロー役(?)



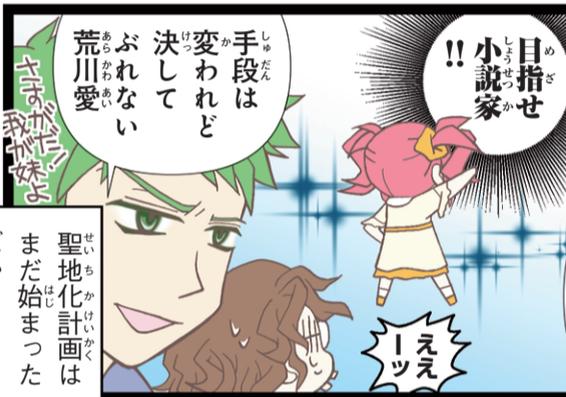
ほくと
妹思いなゆいの兄。
熱血漢でスポーツ万能



裏のおじいちゃん
ゆいと仲良しの
裏に住んでいるおじいちゃん

作・ガズキ伊藤

あらかわ少女☆ゆいちゃん



※1、※2 製図などに使用する道具
※3 何本も線を一点に集中させるように引いたもの

Topics

オンラインで
川の手荒川まつりが
開催されました

4月29日から5月9日までの11日間、「第35回川の手荒川まつり」が開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインでの開催になりました。特設サイトでは、区内の団体によるステージ動画の視聴や、交流のある都市の特産品購入などができ、そのほかにもミニゲームや抽選キャンペーンなど、実際の会場に訪れたような雰囲気を楽しむことができました。



▲ステージの様子

あらかわ
今昔ものがたり
日 [あらかわの歴史と伝説]

その130
三河島の袈裟塚の耳無不動
~小説の主人公になったお不動さん~

区役所の前、ビルが立ち並ぶ明治通り沿いに(荒川三丁目)、怖い顔のお不動さんが座っている。左耳が隠れていて見えないのが特徴だ。もとは仙光院(麿寺)の参道脇にあった袈裟塚(荒川二丁目付近)の上に置かれていたので、袈裟塚の耳無不動(区指定文化財)と呼ばれているんだ。江戸時代の宝暦2年(1752)に、仙光院の住職・光慧さんが村人のために建てた石仏で、台座が道標だったんだよ。

小説の主人公はお不動さん このお不動さんはちょっと人間っぽい仏様として江戸時代の小説に登場したんだよ。それを書いたのは、売れっ子作家で浮世絵師の山東京伝さん。お不動さんが有名だったので、絵入り小説『三河島御不動記』の主役に抜擢したんだ。なにに、どんなお話かって? ちょっとだけあらすじを教えちゃおう。

『寒い冬、山伏に置き去りにされたお不動さんが、火鉢を抱えて暮らしていた。ある日、火鉢の中の炭団(粉炭)の精が「おえん」という女に

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234



姿を変えて現れ、お不動さんは「おえん」をお嫁さんに迎えた。「制吒迦童子」ちゃん「矜羯羅童子」ちゃんという可愛い双子も生まれた。しかし、「おえん」はお不動さんに正体を見られてしまい、燃え上がる火焰に変身し立ち去ろうとする。悲しんだお不動さんは、いっそ地獄で一緒になろうと火焰になった「おえん」を背負ってさまよい歩き、いつの間にか三河島村(荒川区荒川付近)にたどりついた。お不動さんは村人に助けられ、村に安置されることになった。その後、よく願いが叶うと人気のお不動さんになったとさ』

耳無不動は、真赤な火焰を背負っているね。京伝さんはこれを「おえん」に見立てたのかもね。耳無不動のご利益 地元の人が大切に守ってきた袈裟塚の耳無不動には、今でも多くの人が訪れる。お参りすると耳の病気に効くと言われてるんだ。ご利益があったらお椀に穴を開けて納めるのが、昔からの習わしなんだって。みんなも江戸の歴史を伝えるお不動さんを訪ねてみてね。



袈裟塚の耳無不動